

2021年5月19日

緊急事態宣言発令を受けた当社の対応について

新型コロナウイルス感染症拡大により北海道に緊急事態宣言が発令されたことなどをふまえ、当社の当面の対応についてお知らせします。

【お客様のご利用に関すること】

1 列車の運休

- (1) 特急「北斗」「サロベツ」の一部と特急「大雪」の曜日運休追加
ご利用の減少に伴い、6月から1ヶ月程度曜日運休を実施します。

列車名	当初の運休計画	今回追加分
大雪1号～4号 (火・水・木曜運休)	年間50日程度 (4・5・9・10・11月)	6月1日(火)から (+14日)
サロベツ3号・4号 (火・水・木曜運休)	年間30日程度 (4・5・10・11月)	6月1日(火)から (+14日)
北斗5号・14号 (水・木曜運休)	年間30日程度 (4・10・11月)	6月2日(水)から (+9日)

※状況により期間を延長する場合があります。

- (2) 札幌発最終列車の繰り上げ
道の協力依頼により、札幌発各方面の最終列車を14～25分繰り上げています。
・5月12日(水)から実施中(5月10日プレス発表)
- (3) 快速「エアポート」と特急「カムイ」の土休日運休拡大
ご利用減少に伴い、土休日運休を拡大します。

○快速「エアポート」

- ・6月5日(土)から日中時間帯を中心に毎時1本程度となる20本の土休日運休を追加(148本中、土休日運休6本→26本)(5月12日プレス発表)

○特急「カムイ」

- ・6月5日(土)から土休日のみ運転している4本の運転取りやめ(5月12日プレス発表)

(4) 観光列車の運転計画

緊急事態宣言が発令されたことなどをふまえ、以下の列車を運休します。

○花たびそりや号

- ・すべての運転を取りやめ（5月14日プレス発表）

○くしろ湿原ノロッコ号

フラノラベンダーエクスプレス、富良野・美瑛ノロッコ号

- ・6月30日（水）まで運休（5月14日プレス発表） ※7月より再開予定
- ※新型コロナウイルス感染症の状況により、指定席の発売を見合わせることもあります。

○ライラック旭山動物園号は当面の間、以下の車内サービスを見合わせ

（5月12日プレス発表）

- ・1号車での記念撮影サービス（記念撮影シートの設置及び着ぐるみスタッフの乗車）
- ・乗車証明書の配布
- ・各種プレゼント企画（上り列車限定プレゼント企画及びSNSプレゼントキャンペーン企画）

(5) 修学旅行の現状（道内小中高の4～6月実施分）

年度当初と比較し、5月17日現在で125校、9,084名に影響

【4～6月に実施を予定していた校数と現在の実施（予定）校数の内訳】

学校数	年度初（4／5）申込状況				5／17現在 申込状況				影響			
	4月	5月	6月	合計	4月	5月	6月	合計	4月	5月	6月	合計
小学校		1	48	49		1	12	13	0	0	△ 36	△ 36
中学校	26	92	28	146	25	19	14	58	△ 1	△ 73	△ 14	△ 88
高校	1		1	2			1	1	△ 1	0	0	△ 1
合計	27	93	77	197	25	20	27	72	△ 2	△ 73	△ 50	△ 125

（上記125校は、取消・7月以降に延期・未定を含みます）

2 「みどりの窓口」等の営業体制の縮小

ご利用の減少と社員の感染防止のため、5月19日（水）から6月30日（水）まで、以下の内容で営業体制を縮小します（1日あたり、全体で最大44名の出勤者抑制）。

- 「みどりの窓口」の営業体制を縮小します（札幌駅・新千歳空港駅）
 - ・札幌駅：（東口）通常は最大で4窓口を、最大で3窓口の営業体制に縮小
（西口）通常は最大で6窓口を、最大で4窓口の営業体制に縮小
 - ・新千歳空港駅：通常は最大で3窓口を、最大で2窓口の営業体制に縮小

- 外国人観光客向け「インフォメーションデスク」は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、これまでも営業体制を縮小していますが、更に体制を縮小します（札幌駅・新千歳空港駅）
 - ・札幌駅：通常は最大で3窓口を、現在は1窓口の営業体制に縮小しており、今後も体制縮小を継続するとともに、案内要員3名の配置を休止
 - ・新千歳空港駅：通常は最大で7窓口を、現在は2窓口の営業体制に縮小していますが、これを更に1窓口での営業体制に縮小するとともに、案内要員2名の配置を休止

- お客様案内等を行う「サービスマネージャー」の体制を縮小します（札幌駅・新千歳空港駅）
 - ・札幌駅：通常は1日あたり最大5名の出勤者数を、2名の出勤者数に縮小
 - ・新千歳空港駅：通常は1日あたり最大3名の出勤者数を、1名の出勤者数に縮小

- 「電話案内センター」等のオペレーター体制を縮小します
 - ・通常は1日あたり16名の出勤者数を、10名の出勤者数に縮小

3 グループ会社の取り組み

[札幌駅総合開発（株）（JRタワー）]

- ・5月31日までの土・日曜日を臨時休業します。（生活必需品を取り扱う一部の店舗を除く）
- ・平日については、営業時間を20時までに短縮しています。
- ・飲食店においては終日酒類の提供を休止しています。

[北海道キヨスク（株）]

- ・飲食店舗については、営業時間を20時までに短縮するとともに、酒類の提供を休止しています。
- ・温浴施設（極楽湯さっぽろ弥生・手稲）の営業時間を20時までに短縮するとともに、土・日曜日を休業します。

[社員に関すること]

1 社内での感染防止の取り組み

(1) 本社の出勤者数削減

① 概要

新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため、本社ビル内の各部署において、現行の時差出勤に加え、土日の休日の平日への振り替えや週1日の「自宅待機」の取り組みを実施し、出勤者数を約4～5割削減を目指します。また、テレワークの取り組みを実施しています。

② 対象者

本社ビル内で執務している社員約760名

③ 実施期間

5月12日（水）から当面の間

(2) 出張・会議等

- ・都道府県を跨ぐ出張については、厳に控えています。
- ・会議については、極力、オンラインで開催することに取り組んでいます。
- ・懇親会、歓送迎会や飲酒を伴う会食を自粛しています。

(3) 寮での対策

	既に実施している対策	新たに実施する対策
食堂	・消毒液の設置および手洗い・手指消毒の徹底 ・食事中の会話の自粛、食事中以外のマスク着用 ・座席の間引き、長時間利用の禁止	・入口ドアの開放 ・テーブルの間引き等による物理的な間隔確保 ・テーブルパーテーションの設置 ・空気清浄機の設置
浴室・脱衣所	・マスクを外す場面での会話の自粛 ・混雑時の分散利用	・入口ドアの開放 ・共用バスマット撤去 ・間引き等による物理的な間隔確保 ・人数制限の実施 ・空気清浄機の設置
トイレ・洗面所等	・使用時のこまめな手洗い・手指消毒の徹底	・入口ドアの開放 ・間引き等による物理的な間隔確保
その他の共用スペース	・玄関への消毒液の設置および手洗い・手指消毒の徹底 ・談話室の使用禁止	

・一部寮において、各自が使用するトイレ、洗面所等を可能な限り固定する取り組みを実施。

2 運動部の当面の活動

当面の活動を自粛とします。

【活動自粛期間】 5月31日（月）まで

【辞退・中止する主な大会】

- 硬式野球クラブ
 - ・ J A B A北海道大会（5月17日～20日・札幌）【辞退】
 - ・ 日本選手権大会北海道地区予選（6月4日～6日・札幌）【辞退】
- バドミントン部
 - ・ 日本ランキングサーキット（5月29日～6月2日・埼玉）【辞退】
 - ・ 全日本実業団選手権大会（6月23日～27日・愛知）【中止】
- 卓球部
 - ・ 北海道実業団選手権（5月29日～30日・札幌）【中止】
 - ・ 国民体育大会北海道予選（6月5日～6日・千歳）【辞退】

3 一時帰休の検討

緊急事態宣言が発令された中で、お客様のご利用減少に伴う業務量の急激な縮減が見込まれるため、6月1日（火）から6月30日（水）まで、本社ビル内の各部署及び駅社員、乗務員等の一部について、「一時帰休」の実施を検討しています。

（1日あたり160名規模、昨年度290名規模）